

## 2 当初予算の主要な事業の状況

### (1) 大竹を愛する人づくり

#### **新規** 小・中学校管理運営事業 (児童・生徒用コンピュータ整備事業)

10,285 千円

担当 総務学事課

文部科学省が推進する「G I G Aスクール構想」の実現に向けて、令和5年度までに児童・生徒が1人1台の学習者用コンピュータを持ち、授業等で十分に活用できる環境整備を目指します。

令和2年度は、未整備の小・中学校を中心に「1クラス分」程度のタブレット等を整備する予定です。

(小学校：3,740千円，中学校：6,545千円)

※G I G Aスクール構想…個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるために、「1人1台端末」及び「高速大容量の通信ネットワーク」を一体的に整備する構想

#### **奨学金貸付事業**

8,845 千円

担当 総務学事課

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。

平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

## こども相談室運営事業

9,974 千円

担当 総務学事課

家庭等で問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者等に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。

## 学習環境サポート・読書活動推進事業

14,326 千円（小学校費）

6,163 千円（中学校費）

担当 総務学事課

通常の学級に在籍する発達障害などのある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな指導を行います。  
学校図書館に読書及び学習活動上の支援を行う「読書活動推進員」を配置することで、市内小中学校の読書及び学習環境を整え、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

## 中学校教育振興事業（英語力向上事業）

659 千円

担当 総務学事課

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、市内の中学校に通う中学3年生を対象に全額助成（年1回）します。中学3年時の目標を定めることで、中学生全体の英語力の向上を目指します。